



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月9日

上場会社名 株式会社ビーイング 上場取引所 東
 コード番号 4734 URL <http://www.beingcorp.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)末広 雅洋
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役経理部長 (氏名)後藤 伸悟 (TEL) 059(227)2932
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	2,349	△6.3	43	△77.4	44	△76.0	8	△90.9
29年3月期第2四半期	2,508	2.7	191	△34.3	185	△37.2	98	△24.9

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 11百万円(△88.6%) 29年3月期第2四半期 101百万円(△19.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	1.14	—
29年3月期第2四半期	12.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	6,644	3,195	48.1
29年3月期	6,545	3,278	50.1

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 3,195百万円 29年3月期 3,278百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	
	百万円	%
通期	5,100	3.3

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社 (社名) 、除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

30年3月期2Q	8,257,600株	29年3月期	8,257,600株
② 期末自己株式数	393,559株	29年3月期	393,559株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	7,864,041株	29年3月期2Q	7,864,041株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。なお、当社グループはパッケージソフトウェアの開発・販売を主たる事業としているため、当社グループの業績は売上高の増減がほぼそのまま営業損益に反映するという特徴があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期において当社グループは、引き続き研究開発活動に積極的に取り組んでまいりました。また、課題となっていた土木工事積算システムにおけるデータ処理リソースの不足を改善するため、これを専門に行う子会社を設立するなど、ボトルネックの解消に取り組んでまいりました。

主力用品である『Gaia(ガイア)9』がライフサイクルの終末を迎えたことにより、販売面での落ち込みが顕著となっておりましたが、新バージョンのリリースが確定したことで市場が活性化し、当第2四半期連結累計期間末にかけて販売が回復してまいりました。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比して6.34%減少し2,349百万円となりました。

コスト面では、研究開発費や販売関連費用に積極的に資金を投入いたしました。一方で前期に行った寄付の特殊要因が無くなったことや、土木工事積算システムにおいて必須のデータ処理を子会社で行うこととしたことから一時的に費用が減少し、総コストは11百万円減少いたしました。この結果、経常利益は44百万円(前年同期比、76.0%減)となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、8百万円(前年同期比、90.9%減)となりました。

セグメント別の概況は次の通りであります。

(建設関連事業)

建設関連事業につきましては、昨年9月に投入した工程管理機能付きASP型工事情報共有システム『BeingCollaborationPM』の販売が伸びたものの、土木工事積算システムが減少したことから、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比して9.5%減少し1,637百万円となりました。

これにより、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益は34百万円(前年同期比75.9%減)となりました。

(設備関連事業)

設備関連事業につきましては、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期からやや増加し711百万円(前年同期比1.8%増)となりました。利益面では、販売関連経費等の増加により、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益は前年同期に比して67.4%減少し、19百万円となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、平成32年3月期において連結売上高70億円、連結営業利益10億円を目標とした3カ年計画を推進しており、その実現に向けて積極的に商品開発に取り組んでおります。開発にあたっては、社内リソースに限らずグループ外への外注も活用していく方針を取っております。このような開発投資の大部分は「研究開発費」として支出時に費用処理されるため、開発外注の活用度合いによって、利益額に大きな影響があります。そのため当期に関しましては、連結業績予想として「売上高」のみを開示しております。

平成30年3月期の業績予想につきましては、概ね計画通りに推移したため平成29年5月11日に公表した業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,814,102	2,971,454
受取手形及び売掛金	909,407	833,065
有価証券	847,772	459,266
商品及び製品	3,260	3,622
原材料及び貯蔵品	5,955	5,146
繰延税金資産	262,475	267,453
その他	153,961	556,263
貸倒引当金	△300	△300
流動資産合計	4,996,635	5,095,973
固定資産		
有形固定資産	238,324	232,487
無形固定資産		
のれん	246,270	235,716
その他	25,397	25,656
無形固定資産合計	271,668	261,372
投資その他の資産		
投資有価証券	103,070	103,513
繰延税金資産	498,821	479,918
その他	439,254	473,328
貸倒引当金	△2,002	△2,002
投資その他の資産合計	1,039,144	1,054,757
固定資産合計	1,549,137	1,548,617
資産合計	6,545,773	6,644,590

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	120,579	124,384
未払法人税等	28,638	27,413
前受収益	843,309	892,444
賞与引当金	205,936	195,218
その他	278,007	288,029
流動負債合計	1,476,471	1,527,490
固定負債		
退職給付に係る負債	546,771	571,549
長期前受収益	1,240,071	1,345,346
その他	4,200	4,760
固定負債合計	1,791,042	1,921,655
負債合計	3,267,514	3,449,146
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,586,500	1,586,500
資本剰余金	197,982	197,982
利益剰余金	1,580,278	1,494,818
自己株式	△86,019	△86,019
株主資本合計	3,278,742	3,193,282
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,043	2,133
為替換算調整勘定	553	22
その他の包括利益累計額合計	△489	2,156
非支配株主持分	5	6
純資産合計	3,278,259	3,195,444
負債純資産合計	6,545,773	6,644,590

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	2,508,623	2,349,489
売上原価	598,242	579,578
売上総利益	1,910,380	1,769,911
販売費及び一般管理費	1,719,122	1,726,777
営業利益	191,258	43,133
営業外収益		
受取利息	3,163	408
受取配当金	32	32
為替差益	-	587
雑収入	1,025	1,202
営業外収益合計	4,221	2,231
営業外費用		
支払利息	32	-
障害者雇用納付金	760	800
為替差損	9,108	-
雑損失	102	12
営業外費用合計	10,003	812
経常利益	185,476	44,552
特別損失		
固定資産除却損	510	-
投資有価証券評価損	1,164	114
有価証券売却損	-	2,878
特別損失合計	1,674	2,993
税金等調整前四半期純利益	183,801	41,559
法人税、住民税及び事業税	106,584	19,142
法人税等調整額	△20,906	13,478
法人税等合計	85,678	32,620
四半期純利益	98,122	8,939
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	98,122	8,939

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	98,122	8,939
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,069	3,176
為替換算調整勘定	7,757	△530
その他の包括利益合計	3,688	2,645
四半期包括利益	101,810	11,585
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	101,810	11,585
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	183,801	41,559
減価償却費	18,041	16,244
のれん償却額	10,554	10,554
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△50	-
賞与引当金の増減額(△は減少)	5,519	△10,717
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	560	560
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	17,933	24,778
受取利息及び受取配当金	△3,195	△440
支払利息	32	-
有価証券売却損益(△は益)	-	2,878
投資有価証券評価損益(△は益)	1,164	114
固定資産除却損	510	-
売上債権の増減額(△は増加)	183,419	76,364
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,820	446
仕入債務の増減額(△は減少)	1,727	3,804
未払又は未収消費税等の増減額	△4,755	△8,903
前受収益の増減額(△は減少)	53,868	49,134
長期前受収益の増減額(△は減少)	23,127	105,274
その他	△58,415	△4,056
小計	435,663	307,596
利息及び配当金の受取額	3,342	3,470
利息の支払額	△32	-
法人税等の支払額	△134,049	△14,133
営業活動によるキャッシュ・フロー	304,924	296,934
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△236,800	△231,800
定期預金の払戻による収入	228,800	232,400
有価証券の取得による支出	△100,045	△300,003
有価証券の償還による収入	412,315	300,622
有形固定資産の取得による支出	△15,078	△2,544
無形固定資産の取得による支出	△5,004	△8,043
投資有価証券の取得による支出	△100,000	-
関係会社株式の取得による支出	-	△10,000
関係会社貸付けによる支出	-	△25,000
敷金及び保証金の差入による支出	△639	△705
敷金及び保証金の回収による収入	7,462	556
投資活動によるキャッシュ・フロー	191,010	△44,518
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△117,590	△94,467
財務活動によるキャッシュ・フロー	△117,590	△94,467
現金及び現金同等物に係る換算差額	△567	4
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	377,776	157,952
現金及び現金同等物の期首残高	1,856,021	2,192,502
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	6,027	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,239,825	2,350,454

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 財務諸表計上額 (注)2
	建設関連事業	設備関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,809,366	699,257	2,508,623	—	2,508,623
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,119	3,300	8,419	△8,419	—
計	1,814,485	702,557	2,517,042	△8,419	2,508,623
セグメント利益	142,416	59,396	201,812	△10,554	191,258

(注) 1 セグメント利益の調整額は、のれん償却額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 財務諸表計上額 (注)2
	建設関連事業	設備関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,637,572	711,916	2,349,489	—	2,349,489
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,978	2,000	9,978	△9,978	—
計	1,645,550	713,916	2,359,467	△9,978	2,349,489
セグメント利益	34,339	19,348	53,687	△10,554	43,133

(注) 1 セグメント利益の調整額は、のれん償却額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。